



2025（令和7）年度看護の出前授業

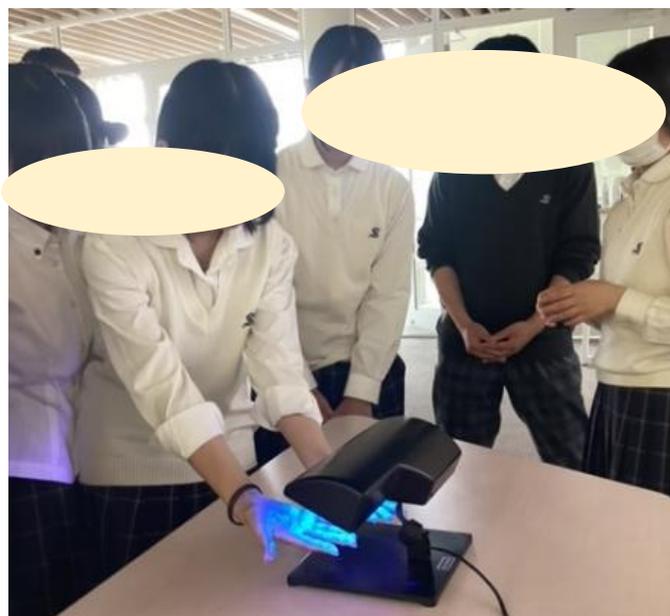
令和7年8月22日（金）

作新学院高等学校トップ英進部・英進部で、1・2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。済生会宇都宮病院の看護師が、「病院について（種類と役割・スタッフとチーム医療など）」「看護師になる方法・仕事の内容」「看護師のやりがい・大切な能力・理想像・求める人材」「看護師としてのキャリアについて」などお話ししました。

○医療従事者の仕事の大変さを実感できた。

看護師から直接話を聞き、仕事のリアルさを知ることによって、看護師になりたい気持ちが更に強まった。

○看護師の仕事内容や進路について理解が深まり、実際にいろいろな体験をできたことが嬉しかった。将来医療に携わりたいという思いが一層強まった。



先生から

この授業で、看護師になる具体的なイメージを持つことができ、また今後身に付けるべき素養についても考える機会となりました。

講師から

事前アンケートをふまえて、専門学校と大学の違い、看護師のキャリア、業務内容や勤務体制など、具体的にお話ししました。

自分の看護を振り返る機会となりました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年9月10日（水）

大田原市立野崎中学校で、2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

那須中央病院の看護師が、「看護師の仕事」「仕事になるためには」「病院紹介」「少子高齢化」などについてお話ししました。また、看護師になろうと思った動機や、看護師としての喜び・苦勞などをお話ししました。

演習では、脈拍測定、聴診器体験、チェッカーを使っての手洗い確認を実施しました。



○看護師さんは辛いこともたくさんあるけれど、すごくやりがいのある職業なのだと思います。

○看護師の仕事内容を学び、医師のサポートだけではない、たくさんの仕事があることがわかりました。「看護師は優しさで笑顔が大切！」と教わったので、私も優しさで笑顔を保ち続けられれば良いなと思いました。

○男性の看護師が増えていることがわかりました。



学校の先生より

看護師の働くうえでの喜びや、たいへんな仕事だからこそ「やりがい」があることとお話しいただき、キャリア教育の一環として勉強ができました。



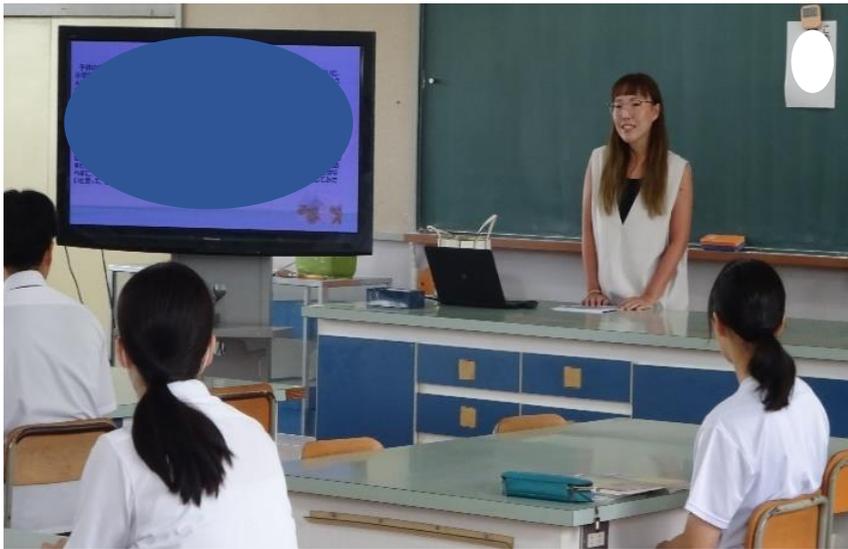


2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年8月4日（月）

栃木県立宇都宮南高等学校で、2・3年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

JCHOうつのみや病院の看護師が、「看護師になった動機」「看護学校の受験や学習・実習について」「看護職の特性や内容」「チーム医療について」などお話ししました。



講師から

看護師になろうと思った時の気持ちや看護学生時代のことを思い出す良い機会となりました。看護の理想と現実や、医療現場の現状をお伝えするか悩みましたが、真摯に受け止めてくださり、医療職に就きたいと思う高校生に感銘を受けました。



○看護専門学校学生も様々な年齢の方がいて、患者さんもさまざまであり、自分とは異なる考えや価値観を持つ人との交流ができるのも看護の魅力の一つだと気づけた。

○授業の中で「自分の好きなこと・得意なこと」を書き出した内容を見て、意外と看護師に向いていると思えた。このおかげで更に興味を持って、もっと知りたいと思った。

○看護師の仕事の大変な部分や苦勞する部分も隠さず教えていただき、それでもやりがいがあるところ、自分も看護師になりたいという気持ちが強くなった。

○医療職のイメージと現実がかなり違うことを知った。いろいろな職種がいろいろな働き方があり、自分に合った働き方を見つけるのが大切だと分かった。

先生から

講師の方が経験を通して、踏み込んだところまでお話しいただき、生徒たちも興味を持って拝聴しました。今回の講義を通して生徒たちが看護師としてのやりがいを理解し、今後の希望や目標を固まったと感じました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年7月17日（木）

真岡市立久下田中学校で、全校生徒を対象に看護の出前授業をおこないました。

芳賀赤十字病院の看護師が、「看護師・保健師・助産師のお仕事」「仕事の特性や内容」「必要な資格と取得方法」「病棟看護師の一日」を全校生徒に向けてお話ししました。また、久下田中学校の卒業生の看護師も同行し、看護師になった動機や中学校時代の思い出などをお話ししました。

その後、3年生と保健委員を対象に、聴診器・血圧計に実際に触れて体験も行いました。



○将来の仕事には、能力だけでなく、思いも大切だということがわかりました。誰かのためになりたいという思いで、将来の仕事を考えようと思いました。

○「働く」とは深く考えさせられた。

○実際に看護師の方から話を聞き、興味を持つことができました。

○看護師を目指しているので、看護師の方のお話を聞き、夢のために頑張りたいと思った。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年7月4日（金）

那須塩原市立黒磯中学校で、2年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

菅間記念病院の看護師が、「看護職とは」「看護師の実際」「看護職になるには」などについてお話ししました。

また、「血圧測定の実践」や物品見学（注射器・採血管・聴診器・ペンライトなど）も行いました。



看護師だけでも様々な仕事があり、人の役に立っているとすごくわかりました。

興味を持っていたのでより詳しく聞くことができ、ずっとワクワクしていました。とても楽しかったです。



講師の方から

この出前授業を通して看護師という仕事にいかに関心を持っていただけるかと考え、興味を持てるような内容にできるよう心がけました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年6月20日（金）

那須塩原市立共英小学校で、5年生児童を対象に看護の出前授業をおこないました。

那須北病院の看護師が、「看護師とは」「看護師の仕事内容」「福祉の目で見た看護師の役割」「看護職への道」などについてお話ししました。

また、聴診器で心音を聴く、滅菌ガウン・手袋の着脱、などたくさんの体験も行いました。



看護師さんの仕事が良くわかりました。
クイズやいろいろな道具を実際に触って体験することが
できて、楽しかったです。
看護師さんの大変さを知ることができました。





2025（令和7）年度看護の出前授業

令和7年6月17日（火）

栃木県立壬生高等学校で、1～3年生を対象に看護の出前授業をおこないました。

獨協医科大学病院の看護師3名（2名が壬生高等学校の卒業生でした）が、「看護職になるために」

「看護職の仕事内容・フィールド」「看護師国家試験等について」などについてお話ししました。

また、卒業生である先輩看護師から、看護師になった動機ややりがい・魅力、高校時代に頑張った事などもお話ししました。



この出前授業を通して

○1・2年生は、看護職について深く知ること
で、更に興味を持つきっかけとなった。
看護師になりたい気持ちが強くなった。
やりがいも大変なこともある。コミュニケーションを大事にしたい。

○3年生は、現在の医療現場の状況を知ることができた。また、学校や、国家試験の情報など、とても役に立つと思った。
更に看護師になりたい強くと思った。



講師の方から

看護職は、人と直接かかわる仕事であり、自己表現や話を聞く能力を養い、様々な人とのコミュニケーションを通じて、気持ちに寄り添うことの大切さをお話ししました。

皆、真剣に話を聞いてくださり、楽しく体験をしている様子が見られました。

